

地球研・北大合同地球環境セミナー

臭いものに蓋をしない？：「フン」をめぐる文化論や技術論－アフリカやアジアの事例から－

●日時：2015年11月6日（金）、13:30～17:30

●場所：北海道大学農学部大講堂

●主催：北海道大学工学研究院、総合地球環境学研究所

●協力：北海道大学農学研究院、新学院設置構想委員会・農学系専門委員会（国際食資源学院）、日本アフリカ学会北海道支部

●趣旨

し尿や家畜糞、廃棄物は、私たちのすぐ身の回りにあります。その扱いを誤れば衛生や環境を損ねる汚染問題となりますし、それを上手に活用できれば暮らしに役立つ有用な資源となります。とはいえ、日常の暮らしの中で、し尿や家畜糞は、私たちの意識の外に押し出されてきたように感じませんか？

世界的に人口の局在化（都市域への流入と農村域からの流出）やライフスタイルの変化が進む中、これまでのように「臭いものに蓋」をすることに限界が来ています。一方で、これまでに蓄積された暮らしの知恵や処理技術、利用の仕方には様々なものがあります。そこには、これからの暮らしの向上や環境問題の解決、未来社会のあり方を探るヒントが隠されているようです。

このセミナーでは、し尿や家畜糞への向き合い方を、日本やアジア、アフリカの事例を参照しながら、それへの認識や文化・社会との関わり、食料生産などの資源利用、環境負荷の低減など複数の観点から考えてみます。

●プログラム

受付・開場 13:00～13:29

開会 13:29～13:30（1分）（船水 尚行、（北海道大学・工学研究院）

挨拶 13:30～13:36（5分）（横田篤、農学研究院長、新学院設置構想委員会・農学系専門委員会（国際食資源学院））

趣旨説明（解題）13:35～13:50（15分）（石川智士、総合地球環境学研究所・准教授）

発表（発表30分、質疑応答10分）

発表1 13:50～14:30

ヒンドゥー教における牛糞の儀礼的意味と利用（小磯学、神戸山手大学・現代社会学部・教授）

発表2 14:30～15:10

循環社会と糞尿利用（岩淵和則、北海道大学農学研究院・教授）

（休憩 15:10～15:20）

発表3 15:20～16:00

西アフリカ・内陸半乾燥地の地域開発支援に家畜糞を活かす

（田中樹、地球研・准教授；宮寄英寿、地球研・研究員）

発表4 16:00～16:40

糞便を工学的に見る（船水尚行、北海道大学工学研究院・教授）

（休憩 16:40～16:50）

総合討論 16:50～17:20

閉会のことば 17:20～17:30（田中樹、地球研・准教授）